

◆◆◆ 今回の探検先は…

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所
http://www.jfe-steel.co.jp

2003年に川崎製鉄(株)と日本鋼管(株)が統合して設立された鉄鋼会社。千葉、神奈川、岡山、広島の4箇所に製鉄所を持ち、年間およそ3,000万トンの鉄を製造している。今回の探検先である東日本製鉄所・千葉地区は、首都圏を控えた京葉工業地域に位置し、原料の受入から鋼板の製造までを一貫して行える臨海製鉄所。この製鉄所で製造された鋼板は、缶詰や缶飲料、ステンレス製のキッチン・シンク、自動車用鋼板などとして活用されている。

●探検実施日:2010年8月26日(木)

◆◆◆ みんなのくらしを支える鉄



夏休みも終わりに近づいた8月26日、しごと探検隊に選ばれた小学生16名がアイテムに集合した。探検先は、JFEスチールの東日本製鉄所千葉地区だ。「1日にどれくらい鉄を作る

の」会社では、どれくらいの人が働いているの」という製鉄所に関する質問だけでなく、「どうしてこの会社を選んだの」「仕事へのこだわりは」といった働く人への質問を準備してきた子どももいる。

オリエンテーションを終えバスで移動した子供達を、見学センター長の奥笠さんが出迎えてくれた。

◆◆◆ 溶鉱炉の貴重な瞬間に遭遇

いろいろな太さのパイプが縦横に走る広大な敷地内を通り抜け、バスの着いたのは溶鉱炉。2200度もの熱で約8時間かけて鉄鉱石を溶かし、ドロドロになった鉄分を



取り出す設備だ。子供達がバスから降りると、そびえたつ溶鉱炉の下方からオレンジ色の炎が噴き出して見える。取り出された鉄分が、専用機関車のタンクに積み込まれるところだった。「この瞬間が見られるなんて、君たちはラッキーだね」と奥笠



さん。次の工場に運ばれた鉄分は、不純物が取り除かれてより強度を増し、鋼の板に固められるという。当日は猛暑。さらに暑い溶鉱炉のそばで、子供達は大粒の汗を流しながら、真剣に見入っていた。

◆◆◆ 轟音と熱に包まれた熱間圧延工場

次に向かったのは、鋼の板を薄く延ばす熱間圧延工場だ。工場内に足を踏み入れたとたん、とどろくような音が鳴り響いた。ライン上のローラーに、およそ1100度に熱せられた真っ赤な分厚い鋼板が押し出されてくるのが見える。

広い！大きい！熱い！ 子供達が迫力満点の 製鉄所を見学

「JFEスチールは鉄の板やパイプなどを作っている会社です。みんなは、鉄でできているものを知っているかな」という質問に、自動車・ビル

電車…次々と、子供達の声が上がった。「そうだね。鉄の塊そのものはお店では売っていないけれど、いろいろな姿に形を変えて、君たちのそばで活用されているんだ」。



「この製鉄所は、東京ドーム164個分の広さです」と奥笠さんの説明が続く。広大な敷地で、毎日約1万トンの鉄が作り出されているという。「鉄を溶かす溶鉱炉は、一度火を入れたらずっと動かし続けなくてはなりません」。

◆◆◆ 365日休みなく働く製鉄所

「そのとたん、見学コースにまでもものすごい熱気がおそってきた。「あつーい！」と叫ぶ子供達の耳に、「今の気温は約40度です」と、トランシーバー越しに奥笠さんの声が届く。厚さ約26センチ、長さ約10メートルほどの鋼板は、ローラーの上を転がりながら、圧力をかけられ、より薄く、より長くなっていく。1〜10ミリにまで薄く延ばされた鋼板は水で冷やされ、ぐるぐる巻きにされて、まるで巨大なトイレットペーパーのようだ。真っ赤だった鋼板は銀色に変わっていたが、それでもなお500度近い温度があるという。約600メートルも続く長いラインだが、働いている人は殆ど見あたらない。大きくて、数え切れないほどたくさんある機械を、すべてコンピュータで制御しているのだ。



いったん火を消して温度が下がると、内側のレンガがもろくなってしまいうからです。だから製鉄所には休みがありません。365日、1日も休まず、24時間体制で、およそ1万人の人達が交替で働いています」。鉄ができればるまでをまとめたビデオも見て、しっかりと予習完了。ヘルメットとトランシーバーを装着し、再びバスに乗り込む。



◆◆◆ 働くって、大変だけどすごいこと

製鉄所の見学を終え、再び見学センターでの質問タイムが始まった。「鉄を作る仕事の楽しさってなんですか」という子供からの問いかけに、「お客さんの注文に応じて、品質の高い鉄を作り上げるためには、たくさんテストが必要ですよ。何度もテストを重ねて、お客さんからOKをもらった時が一番うれしい」と、答えてくれた。

アイテムに戻った子供達は、いろいろな感想を発表してくれた。「工場は、すごく大きくて熱かった」「働くって大変だけど、いろいろなところに役立つものを作るのはすごいことだと思っ」た…「迫力ある工場を見学し、働いている人の気持ちに触れた子供達。製鉄所で働くことへのスケールの大きさ、すごさに圧倒されたようだ。



感想コーナー

- 鉄を作ることの重要性を知りました。
- 暑い中、ずっと働いているのがすごいなと思いました。
- 鉄作りの見学は暑いけど、作っているのを見られて良かったです。
- 鉄を作る所を初めて見ました。楽しかったです。
- 仕事って、人に喜んでもらえるとがんばれるんだなあって思った。



JFEスチール株式会社
東日本製鉄所 見学センター
センター長 奥笠計造さん



1000℃以上に加熱されたカムボコ板状の鉄の塊(スラブ)が、薄くなっていく光景に目を丸くして、スゴイ・アツイ・ワーを連発していた子供達。はたしてこの子供達から、未来の鉄人が出てくるかな?子供達の事前勉強のおかげで、小学生とは思えない厳しい質問攻め…。私ももっと勉強なくては…(見学中の汗とは違い冷や汗タラタラ)。非常に元気な子供達と、楽しい見学ができました。来年もお待ちしております!

●「アイテムしごと探検隊」ご協力をお願い

(株)アイテムでは、訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子供達が「仕事」について考える機会を一緒に提供していただませんか?

お問い合わせは
「アイテムしごと探検隊」事務局まで ☎0120-938-989